

2010.8.21



# この夏に聴きたい名曲・佳曲



## プログラム

記録的な猛暑となった2010年ですが、今日はこんな夏に聴きたい名曲・佳曲を集めてみました。モーツァルトのフルート四重奏曲第1番は澆刺とした華麗な2つの楽章がしっとりとうたうアダージョ楽章を挟んだ、このジャンルの名曲のひとつ。グリーグが20歳過ぎから約35年間書き続けた抒情小曲集は、さまざまな描写の中からロマン的な情緒感がたっぷりと聴ける佳曲です。イギリスの作曲家ディーリアスの「フロリダ」組曲はフロリダで過ごした印象を元に、のちに朝から夜までの一日を管弦楽曲として描いた作品で、色彩的な美しさの際立った名作です。今日は4曲中前半の2曲をお聴き頂きます。ガーシュインの名曲サマータイムはクラシックとジャズ両面からの聴き比べでお楽しみください。ベートーヴェンの交響曲第4番は、第3番と第5番の間に挟まれてやや目立ちませんが、気品ある響きと美しい流れを持った傑作です。この夏を乗り切るための清涼音楽となればと思います。

\*\*\*\*\*

**ウォルフガング・アマテウス・モーツァルト (1756~1791):**

**フルート四重奏曲第1番二長調K.285 全曲**

ジャン・ピエール・ランパル (フルート) / アンサンブル・アルス・ノヴァ  
(1975.11.5 新宿厚生年金会館大ホールでのLive)

**エドワード・グリーク (1843~1907):**

**抒情小曲集**

**第7集第2番“感謝”op.62-2 / 第7集第5番“まぼろし”op.62-5**

**第10集第2番“夏の夕べ”op.71-2**

スピヤトスラフ・リヒテル (ピアノ) (1994.3.6 昭和女子大学人見記念講堂でのLive)

**第1集第1番“アリエッタ”op.12-1 / 第1集第2番“ワルツ”op.12-2**

**第6集第6番“郷愁”op.57-6 / 第1集第5番“民謡”op.12-5**

シプリアン・カツアリス (ピアノ) (1986.5.26 グリークホールでのLive) 【米倉ライブラリーから】

**フレデリック・ディーリアス (1862~1934):**

**組曲“フロリダ” ~ 1. 夜明け - ラ・カリンダ舞曲 2. 河畔にて (3. 夕暮 4. 夜に)**

トマス・ビーチヤム指揮ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団 (1956年録音 EMI盤)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

**ジョージ・ガーシュイン (1898~1937):**

**サマータイム (歌劇“ポギーとベス”より)**

1. キリ・テ・カナワ (ソプラノ) / アンドルー・デイヴィス指揮BBC交響楽団  
(2002.6.1 ロンドン、バッキンガム宮殿でのLive)

2. キャスリーン・バトル (ソプラノ) / マーゴ・ギャレット (ピアノ)  
(1991.4 ニューヨーク、カーネギーホールでのLive グラモフォン)

3. エラ・フィッツジェラルド (ヴォーカル) / ルイ・アームストロング (ヴォーカルとトランペット) & オーケストラ

4. ルネ・フレミング (ソプラノ) / ジョセフ・コラネーリ指揮東京フィルハーモニー管弦楽団  
(2001 NHKスタジオでのLive)

5. ユーディ・メニユーイン (ヴァイオリン) / ステファン・グラツペリ (ヴァイオリン) & ジャズ・バンド

**ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):**

**交響曲第4番変ロ長調op.60 全曲**

小澤征爾指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1990.1.14 ウィーン・ムジークフェラインホールでのLive)